

台風に備え、命を守る準備をお願いします

これから出水期※に入り、梅雨前線豪雨や台風による集中豪雨により、河川の急な増水やはん濫、土砂災害発生などの危険性が高まります。（※出水期：6月～10月） 昨年の台風19号を振り返りいざという時に備え、もう一度、災害について考えてみましょう。

1 自助・共助・公助について

自助

自分の命は自分で守りましょう

自宅の耐震診断や耐震補強、家具の転倒防止をしましょう。

避難持出品の準備は自分で行いましょう。

畳をテーブルに上げることや、家電を2階に動かすことも重要です。

ペットの避難方法（ケージ、サークル、エサなど）も考えましょう。

共助

次に隣組や隣近所で、助け合いましょう

隣近所に声を掛けましょう。

自主防災活動に参加しましょう。

避難所運営は避難者同士で助け合いましょう。

公助

防災機関の救助について

市では、消防署（団）や建設業の皆さんなど関係機関と協力して対応します。

しかし、行政・防災関係の公助には限界があります。

その為、市民の皆さんの自助・共助が必要不可欠です。

おにぎり△ パン☞
常備薬👉など
自分で準備しましょう



2 あなたの家の位置を確認

(1) あなたの家の位置を防災マップで探して、周辺の浸水箇所や土砂災害などの状況を確認し、避難の必要性を確認しましょう。

（防災マップは市のホームページで確認できます。）

(2) あなたの家の避難場所と避難経路を赤えんぴつで書いてみましょう。

（水害時・地震時についてそれぞれ考えてみましょう。）

(3) あなたの家の避難場所まで、実際に歩いてみましょう。

（実際に歩いてみると側溝やマンホール等の位置がわかります。）

実際に避難所
まで歩いてみる
と、危険な場所
がわかるね。



3 大雨では水位・雨量や気象情報に注意

- (1) 雨雲の様子や河川の水位、雨量等は、リアルタイムで、県のインターネットサイト「サイポスシステム」で確認できます。パソコン、従来型携帯電話（ガラケー）、スマートフォンで利用できます。また、河川の水位や雨量は、NHK地デジ・データ放送でも確認できます。
- (2) 土砂災害発生の危険度が高くなったときには、静岡地方気象台と県が土砂災害警戒情報を共同で発表します。
- (3) 台風情報、竜巻や雷の情報も併せて確認してください。

4 メール配信サービスやLINEの「市公式アカウント」の活用

同報無線の放送内容は、防災ラジオで聞くことができますが、台風などの天候やお住いの地域によって聞き取りにくい場合があります。伊豆の国市メール配信サービスやLINEの「伊豆の国市公式アカウント」から文章で情報を受け取ることができますので、ぜひ登録してご活用ください。



避難情報は、同報無線・防災ラジオ等を通じて市民の皆さんに伝えられます。

消防団・サイレン・携帯電話緊急通報メール・市のホームページなど

① メール配信サービス登録方法

izunokuni-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com に空メールを送信してください。その後、必要な情報を選択してください。



メール配信サービス

② LINEの利用方法

ご利用のスマートフォンにコミュニケーションアプリ「LINE」がインストールされているかご確認ください。

インストールされていない場合は、アプリをインストールしてください。「伊豆の国市公式アカウント」を友だち追加してください。



LINE 追加 QR コード

友だち追加
してください。



5 避難情報等が発表されたら自発的に避難

- (1) 高齢者・障害者・乳幼児等は、避難に時間が掛かります。家族や施設管理者は、「避難準備・高齢者等避難開始」が発表された時点で、一緒に避難を開始してください。
- (2) 市から「避難勧告」が発表されたら各自で速やかに避難を開始してください。

6 「いつ」「どうやって」逃げるのか

- (1) 市では、国や県が発表する防災気象情報を5段階に整理し、とるべき行動や避難情報を発表します。
- (2) 市の同報無線やテレビ、メール配信サービス、FM いずのくになどを活用して避難情報をお知らせします。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5 高	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※2 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 (市町村が発令)
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令 (市町村が発令)
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル 1 低	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)



元気起爆 Radio
FM87.7MHz ON AIR

「どうやって」逃げるのか

次の点に注意し安全な避難を心がけましょう

避難時の危険箇所

路上には、いろいろな危険が潜んでいます。
注意すべき場所を日頃から確認しておきましょう。

水路の周辺

水路にはガードレールの柵がない場合があります。浸水時には、水路の場所が利らず流って流される危険があります。



土砂災害危険箇所

「がけ」は、大雨が降ると崩れる恐れがあるため、大雨時に近づくのは危険です。また「がけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。



屋内での避難

浸水が始まり、外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう



助かると思う場所は、どこでも逃げ場所です。

水害時の情報伝達方法

水害に関する防災情報は各機関から以下のような経路で伝達されます。市民の皆さんは、テレビ・ラジオ・インターネットなどを活用して情報収集を行い災害に備えてください。



7 避難所の三密防止のために

避難所では、新型コロナウイルスなど、感染症リスクを高める3つの密の状態が発生します。避難所運営方法として、できるだけ多くの避難所の開設を行うことも必要ですが、自助の一つとして自宅にとどまる為の食料や水の備蓄、事前に安全な親せきや友人宅を避難先として考えるなど新たな避難行動が必要な状況となっています。

8 気象情報等を取得するために

▶ 気象等の情報入手先

大雨のときは、川の水位情報を入手しましょう。川の水位情報は、インターネットや携帯から入手することができます。ブックマーク(お気に入り)などに登録しておきましょう。

インターネットから入手する方法

1) 国土交通省【川の防災情報】を見るとき

<http://www.river.go.jp/>



2) 静岡県サイボスレーダーを見るとき

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



3) 気象庁・静岡气象台

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

静岡气象台 <http://www.jma-net.jo.jp/shizuoka/>

携帯電話から入手する方法

1) 国土交通省【川の防災情報】(携帯版)を見るとき

<http://i.river.go.jp/>



2) 静岡県のサイボスレーダー(携帯版)を見るとき

<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>



避難情報・被害情報等の入手先

伊豆の国市ホームページとメール配信サービス

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

伊豆の国市

検索

災害時には伊豆の国市ホームページで避難情報や被害情報、交通情報など災害に関する情報をお知らせします。また、メール配信サービスでは、避難情報や気象警報などの情報を配信しています。メール配信サービスのご利用には登録が必要です。登録方法は伊豆の国市ホームページ(右上パナー)でご確認ください。